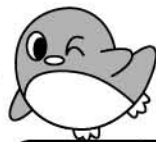


ペンギンレポート



■発行所
市民フォーラム
〒183-8703
府中市宮西町2-24

【府中市政報告】Vol.13 平成26年6月30日



府中市議会議員 **山上みのる**

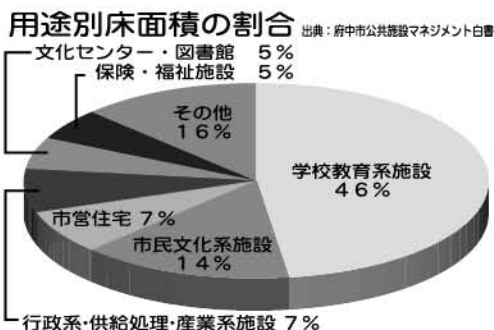
【ご意見ご要望をお寄せ下さい】 E-mail yamagami_229@nifty.com
TEL・FAX 042-366-3543 URL http://yamagami.a.la9.jp/

■プロフィール■
○1956年2月29日生まれ/寿町在住
○府中一小、府中一中、早稲田大学法学部卒業
○「そらとぶペンギン」を主宰
(心臓病の子どものための保育教室)
【主な経歴】
保護司/民生委員・児童委員/社会福祉協議会評議員/あけぼの福祉会理事/安立園評議員/府中市学校評価委員/少年補導員/府中四中学校評議員

公共施設マネジメント グリーンプラザ処分？

「府中グリーンプラザ『処分』」という5月29日の読売新聞の記事に驚かれた方も多かったのではないのでしょうか。一気に注目を浴びることになりましたが、**全市民が少なからず影響を受ける公共施設マネジメントのモデル事業**についてご報告いたします。

そもそも、公共施設マネジメントとは…



府中市では、将来の公共施設の維持、更新の懸念から、平成22年に「府中市公共施設マネジメント白書」を作成し、公共施設の全体像を把握しました。そこで分かったことは、公共施設の総面積は約61.5万㎡で、**築30年以上の建物は約26万㎡、全体の4割以上**にのぼることです。さらに、**建物の維持や更新**には、今後40年間、毎年約70億円が必要となり、その額は現在(37億円)の約2倍です。**このままでは、建物すべてを維持することはできません。**また、今後の人口減少、少子高齢化に伴う新たな市民ニーズに対応するためにも、**公共施設の総量抑制・圧縮や機能面からの有効活用が必要**となってきました。

公共施設マネジメントは、単に施設、機能を廃止するというようなものではなく、新たなニーズに応えるため、その提供方法を市民と行政が知恵を出し合い、工夫していくものです。ピンチでもあり、チャンスでもあります。「いつまでも住み続けたい府中」をめざし、**将来に向けた取組の第一歩**となるのが、二つのモデル事業です。

モデル事業-1 「府中駅周辺施設の再編」

府中駅周辺に多くの公共施設がありますが、**機能が重複**するものもあるので、これらの施設を**機能面から一体的に検討**し、効果的、効率的な活用を図ります。

このうち、**処分を検討する施設は、「府中グリーンプラザ」、「ふるさと歴史館」、「ふれあい会館」**の3施設で、平成27年度中には方針策定を予定しています。

※処分とは施設の売却や譲渡等をさします。

| 対象施設 | 築年数 | 検討の方向性 |
|-------------|-----|----------------------------|
| 府中グリーンプラザ | 33年 | 駅周辺施設と機能が重複、老朽化の点から処分を検討 |
| 府中グリーンプラザ分館 | 17年 | 機能の全体的な見直しを検討 |
| ルミエール府中 | 6年 | 稼働率向上、収入増加に向けた方策を検討 |
| ふるさと歴史館 | 47年 | 当面の使用は可能だが、老朽化の状況を踏まえ処分を検討 |
| 教育センター | 32年 | 老朽化を踏まえ、他の施設との複合化を検討 |
| ふれあい会館 | 23年 | 更新費用の削減などの観点から処分を検討 |
| 保健センター | 36年 | コストとサービスのバランスを検証し改善方策を検討 |
| 保健センター分館 | 38年 | 保健センターへの統合後は、様々な活用策を検討 |
| 府中駅北第2庁舎 | 22年 | 新庁舎統合後は、様々な活用策を検討 |

モデル事業-2 「学校施設の更なる活用」

学校プールの市民開放など、**学校施設の複合化**を図ります。それに伴い7つある**地域プールは処分**を検討、平成28年度までに方針策定を予定しています。

学校図書館を地域図書館として市民に開放している自治体などあり、今後は、学校施設のさまざまな活用方法を検討することになりそうです。



私が小さかった頃は、近所に空き地があり、そこには、いつも多くの子どもが集まり、遊んでいました。また、子どもが病気をすれば、隣り近所のおばさんたちが、わが子のように心配もしてくれました。しかし、社会情勢の変化から、子どもを取り巻く環境は大きく変わり、子どもの発達、成長にも影響を与えています。そのため、子どもの健やかな成長を促すためには、これまで以上に、積極的な環境整備や支援体制の充実などが求められています。次代を担う子どもたちのため、その健やかな成長を願い、環境を整え、発達を保障する、それは私たち大人の責任です。

① 児童発達支援センター

平成24年第一回定例会の私の一般質問に対する市長答弁では、平成24年4月に設置予定とのことでした。

㉑ 設置が遅れている理由と他市の状況

△ ⇒ 心身障害者福祉センター内の「あゆの子」を予定していましたが、設置基準の給食調理がされないことから児童発達支援センターの指定を受けることができない状況。また、多摩26市中、八王子市、清瀬市、武蔵村山市、多摩市、あきる野市が1施設、町田市と小金井市は2施設、指定を受けている。

㉒ 保健センター分館が廃止予定ですが「あゆの子」移転の可能性は。また、市立幼稚園も廃園予定ですが「あゆの子」移転の可能性は

△ ⇒ 現段階では特定の機能に絞るのではなく、公共施設マネジメントの視点から、様々な可能性を検証していく必要がある。



給食施設の関係から児童発達支援センターが設置できない状況が今日まであり、その間に周辺自治体では、設置が進んでいます。保健センター分館と市立幼稚園、いずれになるかは、今後の検討ですが、一日も早い設置をお願いいたします。

② あゆの子

㉑ 利用者のここ数年の推移

| △ ⇒ | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 外来グループ利用者 | 1390人 | 1429人 | 1471人 |
| 発達相談件数 | 294人 | 393人 | 517人 |
| 個別指導件数 | 180人 | 294人 | 329人 |

㉒ 府中市において発達支援の中心的役割を担うための今後の課題

△ 地域で支援が受けられるよう、通所施設や学校などへの訪問支援を充実させ相談・支援体制の整備が必要で、そのためには知識や技能が豊富な専門性を持った職員が常時勤務することが望ましい。

③ 子育てサポートファイル

平成25年第1回定例会で一般質問を行っています。

㉑ 現在、障害者福祉課で進めていますが、広く活用できるツールなので、子育て支援課で対応できませんか

△ ⇒ 本市の実施の状況を検証するなど、今後も研究を進めてまいります。

サポートファイルは、子どもの成長の過程を親だけでなく、関係する保育所、幼稚園、学校、あるいは医療機関などが記録することで、気づきや情報共有、サポートにつなげるものです。対象は生まれてくるすべての子どもですので、将来的には子育て支援課での対応をお願いいたします。



④ プレイパーク

㉑ 「子どもが遊び育つ環境と子どもの発達の関係」について、府中市の認識は

△ ⇒ 幼児期から自由に遊び、様々な体験を重ね、自然と触れ合い、その環境の豊かさを実感していくことは重要であると捉えており、このことは、感覚の発達、自己肯定感の高まりや積極的な行動力の育成など、将来の青少年の自立性、社会性を育むことにつながるものと考えている。

㉒ プレイパークについて、周辺自治体の状況

△ ⇒ プレイパークは「自分の責任で自由に遊ぶ」という原則のもと、周辺自治体の状況は、国分寺市、国立市、小平市、小金井市、武蔵野市に設置されている。

㉓ 今後のプレイパークを含む公園整備のあり方は

△ ⇒ 「量から質」への転換を図っているところである。また、プレイパークについては、例えば、公共施設等と隣接する公園を一体的に利用することにより、安全で安心に、自然と触れ合うことができる環境の中で、幼児期から子どもたちが自由に遊ぶ空間づくりが可能か、関係課と連携して研究する。

私たち大人の責任として、子どもたちが、健やかに成長できる環境を整え、発達を保障することが目的です。プレイパークを一つ造れば、それで事が足りるわけではありませんが、逆にプレイパーク一つ造れないのも、府中市として情けないのではないかと思いますので、今後、実施に向けて関係課と連携していただきますよう、お願いいたします。

